

学校評価のまとめ

2021.1.6【最終版】

令和2年12月4日～10日実施

●児童アンケートより● 317人分 回収率98.4%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、学校へ行くのは楽しい94.0%・学校の勉強はよくわかる95.0%・宿題は必ずやっている95.0%・掃除や係、日直委や給食当番など自分の仕事はきちんとやっている97.8%・交通ルールや、決まりを守って過ごしている97.2%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、授業中、自分から進んで発表している71.3%・本を読むのが好きである78.9%・テレビやゲームの時間は、親子で話し合っ決めて決めている79.2%である。

昨年同時期のアンケートと比較して高まったものは、学校へ行くのが楽しい1.2ポイント↑・学校の勉強はよくわかる2.0ポイント↑・である。

低くなったものは、授業中自分から進んで発表している1.7ポイント↓・朝ごはんを食べてから登校するなど、毎日規則正しい生活をしている2.4ポイント↓・いじめや悪口など、人の嫌がることはしない3.1ポイント↓・家の人に、学校であったことや友達のことを良く話している3.5ポイント↓である。

児童は、学校へ行くことが楽しく勉強もよくわかると回答している。また宿題も必ずやっており自分の役割を果たしている。しかし、授業に積極的に参加する態度にやや欠けていることや家庭でのテレビやゲーム（ユーチューブなどの鑑賞を含む）では、時間を決めていない家庭が約2割いることがわかる。昨年と比較すると学校の勉強はよくわかる児童の割合が増加しているが、規則正しい生活や他人のいじめや悪口など人の嫌がることをしないという内容が減少した。コロナ休業での生活習慣の乱れや、ゲーム等の視聴時間の乱れ、集団の規範意識の低下が気になるところである。

●保護者アンケートより● 318人分 回収率98.8%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、教員は、困った時など何でも相談に乗ってくれる93.4%・お子さんは、交通ルールや決まりを守って過ごしている95.3%・家庭では、学校の教育活動に協力するようにしている95.0%・本校の教育活動全般について満足している95.6%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、お子さんは、家庭学習の習慣が身につけてきている63.5%・お子さんは読書が好きである52.8%である。

昨年同時期のアンケートと比較して大きく高まったものは、教員は、わからないところがあると、丁寧に教えている 7.1 ポイント↑・教員は、困った時など何でも相談に乗ってくれる 5.2 ポイント↑・学校は子ども一人ひとりを大切に指導している 5.7 ポイント↑・テレビやゲームの時間は親子で話し合っていて決めている 5.2 ポイント↑である。また、【そう思う】の回答が伸びているものとして学校は教育活動をわかりやすく伝えていると思う 14.3 ポイント↑・本校の教育活動全般について満足している 18.3 ポイント↑であった。

低くなったものは、お子さんは読書が好きである 1.8 ポイント↓であった。

教員は、困った時など何でも相談に乗ってくれるという評価を 93.4%の保護者がしており、本校の教育活動全般について 95.6%が満足していると回答いただいた。この満足度の高まりは昨年度と比較し、3.6 ポイント上昇した。

また、今年の保護者アンケートでは、教員の児童に対するわからないところを丁寧に教える姿勢や困った時に相談に乗る態度などを評価する項目が上昇した。これは、日ごろからの担任や学校職員の児童に対する丁寧な対応について、児童が実感し、その内容を聞いた保護者が感じ取っていると思われる。

●教職員アンケートより● 26人分 回収率100%

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の高い回答は、子どもは学校に来るのを楽しみにしている 96.2%・児童は、清掃や係活動にきちんと取り組み、自分の責任を果たしている 92.3%・児童が学習内容を理解できないときは、個々に丁寧に指導している 96.1%・児童、保護者の相談には丁寧な対処を心がけており、相談しやすいと思う 96.1%・学校は教育活動をわかりやすく伝えている 100%・学校は地域や保護者と連携して教育活動を行っている 100%・本校の教育活動全般について満足している 92.3%である。

【そう思う】【まあそう思う】の肯定的な評価の低い回答は、児童は家庭学習の習慣が身につけてきている 46.2%・児童は、教員や友だち、地域の方にすすんで挨拶している 19.2%・児童は、テレビやゲームの時間を家庭できちんと決めている 19.2%であった。

昨年同時期のアンケートと比較して高まったものは、児童は宿題をきちんとやってくる 18.1 ポイント↑・児童は家庭学習の習慣が身につけてきている 16.6・家庭は、学校の教育活動に協力的だ 29.1 ポイント↑であった。

低くなったものは、児童は読書が好きである 12.8 ポイント↓・児童は、教員や友だち、地域の方にすすんで挨拶している 28.9 ポイント↓・児童は、学校であったことや友だちのことを家庭で話題にしている 5.3 ポイント↓・児童は交通ルールや、きまりを守って過ごしている 8.9 ポイント↓であった。

教職員は、児童の宿題をやってくことや家庭での学習習慣の向上を回答している。一方、家庭学習の習慣は身につけてきていると回答しているのは、そう思う・まあそう思うの合計で46.2%である。あまりそう思わないが50.0%、そう思わないが3.8%である。多くの家庭学習は、宿題のみという内容が予測できる。

学習指導では、児童が理解不十分の際は、個々に丁寧に指導しているとの回答が96.1%であり、児童アンケートの、わからないところを丁寧に教えてくれる94.9%・保護者の96.3%がそう思うと回答していることから、日ごろの指導実践が児童や保護者に浸透していると言える。

また、93.1%の児童は、困った時は担任や担任外の先生方が何でも相談に乗ってくれるとの回答している。これは、保護者でも高く、93.4%がそう思うとの回答であった。この結果は、教職員の質問での、児童・保護者の相談には丁寧な対応を心がけているとの回答96.1%に起因していると推察される。

これらの学習指導や児童の困りごとに対する結果は、日ごろからの担任や担任外教職員の児童に対する丁寧な対応について、児童が実感し、保護者が理解している表れであろう。

児童の挨拶について、教職員の評価が昨年に比べ大きく下降した(28.9ポイント減少)そのため、児童は教員や友だち、地域の方へすすんで挨拶していると思う教職員は19.2%となった。児童アンケートでは92.8%がしている・保護者では93.7%が家庭で指導しているとの回答と、あまりに格差がある。やはり、実態は教職員の評価に近いと思われる。

児童は挨拶を、号令がかかった場面や決まった場面(部活動や授業の始めや終わり)で行っているとの認識があるが、廊下などの教室外や登下校での挨拶は、今後指導が必要である。

今回のアンケートでは、90.9%の保護者が、学校は子ども一人ひとりを大切に指導していると思うと回答(昨年比5.7ポイント↑)、92.1%の保護者が学校は教育活動をわかりやすく伝えていると思うと回答した。

また、92.2%の保護者が学校は地域・保護者と連携して教育活動を行っていると思うと回答(昨年比4.0ポイント↑)した。

これは、教職員の児童に対する丁寧な学習指導と、児童・保護者と何でも相談できる関係性を築く日ごろの取り組みが創り出したものと思われる。

今後とも児童・保護者と教職員との信頼関係を維持し、教育活動を丁寧にすすめる必要がある。